

平成 27 年 国 勢 調 査

従業地・通学地による人口・就業状態等 集計結果の概要【網走市】

目 次

I 従業地・通学地別人口	p 1
II 従業地別就業者	
1 男女・年齢別就業者	p 2
2 産業別就業者	p 4
III 北海道内市別昼夜間人口比率	p 6

平成 29 年 7 月

網走市企画総務部情報政策課情報政策係

従業地・通学地による人口・就業状態等集計とは

当該集計は、全ての調査票を用いて、従業地・通学地による人口の構成や現在住んでいる市区町村と従業地・通学地の市区町村との関係などを集計した結果です。この結果によって、昼間人口や昼夜間人口比率などを把握することができます。

これらについての詳細な結果は、下記 URL の「統計表一覧」を参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>

用語の解説

従業地・通学地

「従業地・通学地」とは、就業者が従業している又は通学者が通学している場所をいい、次のとおり区分しています。なお、運転者などのように戸外で仕事をしている者については、所属している事業所のある市区町村を従業地としています。

区分		内容
自市区町村		従業地・通学地が現在住んでいる市区町村と同一の市区町村の者
	自宅	従業地が自宅（自分の居住する家又は家に附属した店・作業場など）の者
	自宅外	従業地・通学地が「自宅」以外の者
他市区町村		従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外の者
県内	自市内他区	政令指定都市に住んでいる者のうち、従業地・通学地が同じ市内の他区の者 東京都特別区部内に住んでいる者のうち、従業地・通学地が他区の者
	県内他市区町村	従業地・通学地が同じ都道府県内の他市区町村の者
他県		従業地・通学地が他の都道府県の者
従業・通学市区町村「不詳・外国」		従業地・通学地が現在住んでいる市区町村以外であるが、市区町村名が不明の者又は従業地が外国の者
従業地・通学地「不詳」		従業地・通学地が不明の者

夜間人口（常住地による人口）

調査時（平成 27 年 10 月 1 日）に調査の地域に常住している者をいいます。

昼間人口（従業地・通学地による人口）

当該集計の結果を用いて、次の式により算出された者をいいます。

なお、夜間勤務及び夜間通学の者も便宜上昼間人口に含めていますが、買い物客や観光客などは含めていません。

[例：A 市の昼間人口の算出方法]

$$A \text{ 市の昼間人口} = A \text{ 市の夜間人口} - A \text{ 市からの流出人口}_{※1} + A \text{ 市への流入人口}_{※2}$$

※1 A 市から A 市以外への通勤・通学者数

※2 A 市以外から A 市への通勤・通学者数

昼夜間人口比率

次の式により算出され、100 を上回っているときは昼間人口が夜間人口を上回ることを示し、100 を下回っているときは昼間人口が夜間人口を下回ることを示しています。

[例：A 市の昼夜間人口比率の算出方法]

$$A \text{ 市の昼夜間人口比率} = (A \text{ 市の昼間人口} \div A \text{ 市の夜間人口}) \times 100$$

その他の用語

その他の用語は、『平成 27 年国勢調査 調査結果の利用案内 ユーザーズガイド』を参照ください。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/users-g.htm>

I 従業地・通学地別人口

他市区町村で従業又は通学をする者の割合が低下

網走市の総人口に占める従業地・通学地別人口の割合をみると、「自市区町村」が 56.5%、「他市区町村」が 3.3%、「従業も通学もしていない」が 40.2%となりました。

平成 22 年と比べると、「自市区町村」が 0.3 ポイントの増加、「他市区町村」が 0.3 ポイントの減少となり、従業又は通学をする者の割合は、ほぼ変わりませんでした。

<図1、表1>

図1 従業地・通学地別人口の割合(平成 22 年、27 年)

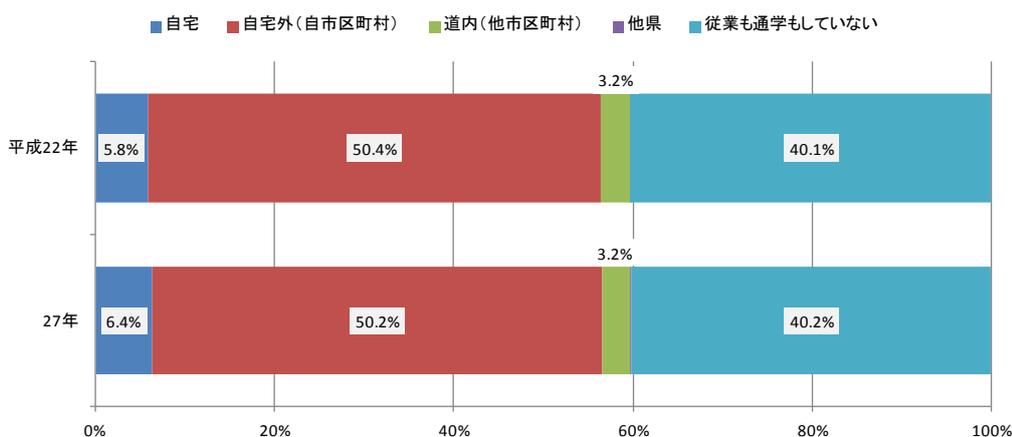


表1 従業地・通学地別人口及び就業者数(平成 22 年、27 年)

従業地・通学地	実数(人)		割合		ポイント差
	平成27年	22年	平成27年	22年	22年-27年
常住人口(夜間人口)	39,077	40,998	100.0%	100.0%	0.0%
従業も通学もしていない 1)	14,834	16,043	40.2%	40.1%	0.0%
自市区町村	20,864	22,471	56.5%	56.2%	0.3%
自宅	2,348	2,321	6.4%	5.8%	0.6%
自宅外	18,516	20,150	50.2%	50.4%	△ 0.3%
他市区町村 2)	1,220	1,450	3.3%	3.6%	△ 0.3%
道内	1,166	1,296	3.2%	3.2%	△ 0.1%
他県	34	8	0.1%	0.0%	0.1%
従業地・通学地「不詳」 3)	2,159	1,034	—	—	0.0%
うち就業者	17,956	18,703	100.0%	100.0%	0.0%
自市区町村	16,388	17,147	93.9%	93.3%	0.6%
自宅	2,348	2,321	13.5%	12.6%	0.8%
自宅外	14,040	14,826	80.5%	80.7%	△ 0.2%
他市区町村 4)	1,061	1,226	6.1%	6.7%	△ 0.6%
道内	1,021	1,099	6.0%	6.6%	△ 0.7%
他県	21	8	0.1%	0.0%	0.1%
従業地「不詳」	507	330	—	—	0.0%

1) 労働力状態「完全失業者」、「家事」及び「その他」

2) 実数は従業・通学市区町村「不詳・外国」を含む。

3) 労働力状態「不詳」及び年齢「不詳」を含む。

4) 実数は従業市区町村「不詳・外国」を含む。

注) 他市区町村の「道内」及び「他県」の割合は、次式により算出している。

$$\frac{\text{道内(又は他県)}}{\text{(他市区町村-従業(・通学)市区町村「不詳・外国」)} + \text{他市区町村の割合}} \times \text{他市区町村の割合}$$

Ⅱ 従業地別就業者

1 男女、年齢別就業者

従業地が「自宅」の就業者の割合は、男女ともに65歳以上が最も高い。

網走市の就業者(17,956人)に占める従業地別の割合をみると、「自市区町村」が93.9%、「他市区町村」が6.1%となりました。男女別にみると、男性は「自市区町村」が92.1%、「他市区町村」が7.9%、女性は「自市区町村」が96.3%、「他市区町村」が3.7%となっており、男女ともに9割以上の者が「自市区町村」で従業しています。

また、男女別、年齢5歳階級別就業者に占める従業地別の割合をみると、従業地が「自宅」の者は、男女とも65歳以上が最も高くなりました。

<図2-1、表2-1>

図2-1 男女、年齢(5歳階級)、従業地別就業者の割合(平成27年)

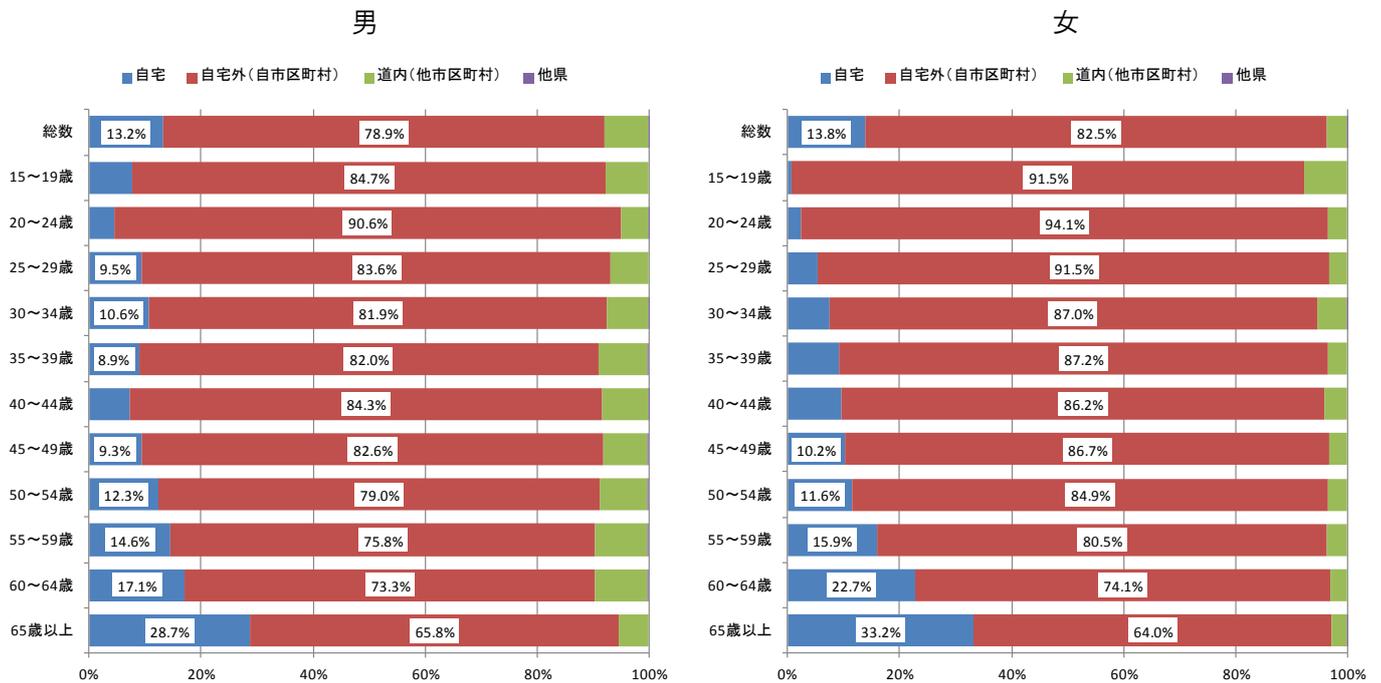


表2-1 男女・年齢(5歳階級)、従業地別就業者数(平成27年)

男女・年齢	実数(人)								割合						
	総数	自市区町村		他市区町村			「従業地」 不詳	総数	自市区町村		他市区町村				
		自宅	自宅外	1)	道内	他県			自宅	自宅外	道内	他県			
総数	17,956	16,388	2,348	14,040	1,061	1,021	21	507	100.0%	93.9%	13.5%	80.5%	6.1%	6.0%	0.1%
15歳未満	1	1	1	-	-	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-
15～19歳	277	253	12	241	21	21	-	3	100.0%	92.3%	4.4%	88.0%	7.7%	7.7%	-
20～24歳	1,176	1,081	39	1,042	48	46	1	47	100.0%	95.7%	3.5%	92.3%	4.3%	4.2%	0.1%
25～29歳	1,228	1,105	90	1,015	62	61	-	61	100.0%	94.7%	7.7%	87.0%	5.3%	5.3%	-
30～34歳	1,504	1,360	136	1,224	97	93	2	47	100.0%	93.3%	9.3%	84.0%	6.7%	6.5%	0.1%
35～39歳	1,757	1,588	154	1,434	116	113	2	53	100.0%	93.2%	9.0%	84.2%	6.8%	6.7%	0.1%
40～44歳	2,118	1,899	168	1,731	134	131	1	85	100.0%	93.4%	8.3%	85.1%	6.6%	6.5%	0.0%
45～49歳	1,822	1,671	172	1,499	105	102	3	46	100.0%	94.1%	9.7%	84.4%	5.9%	5.7%	0.2%
50～54歳	1,897	1,727	221	1,506	119	112	3	51	100.0%	93.6%	12.0%	81.6%	6.4%	6.3%	0.2%
55～59歳	1,964	1,780	290	1,490	133	128	4	51	100.0%	93.0%	15.2%	77.9%	7.0%	6.7%	0.2%
60～64歳	1,874	1,721	361	1,360	126	120	4	27	100.0%	93.2%	19.5%	73.6%	6.8%	6.6%	0.2%
65歳以上	2,338	2,202	704	1,498	100	94	1	36	100.0%	95.7%	30.6%	65.1%	4.3%	4.3%	0.0%
男	10,232	9,109	1,303	7,806	785	754	19	338	100.0%	92.1%	13.2%	78.9%	7.9%	7.7%	0.2%
15歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	145	133	11	122	11	11	-	1	100.0%	92.4%	7.6%	84.7%	7.6%	7.6%	-
20～24歳	617	558	26	532	29	27	1	30	100.0%	95.1%	4.4%	90.6%	4.9%	4.8%	0.2%
25～29歳	699	618	63	555	46	45	-	35	100.0%	93.1%	9.5%	83.6%	6.9%	6.9%	-
30～34歳	890	792	91	701	64	62	1	34	100.0%	92.5%	10.6%	81.9%	7.5%	7.4%	0.1%
35～39歳	1,045	917	90	827	91	88	2	37	100.0%	91.0%	8.9%	82.0%	9.0%	8.8%	0.2%
40～44歳	1,221	1,064	84	980	98	97	1	59	100.0%	91.6%	7.2%	84.3%	8.4%	8.3%	0.1%
45～49歳	1,025	909	92	817	80	77	3	36	100.0%	91.9%	9.3%	82.6%	8.1%	7.8%	0.3%
50～54歳	1,069	944	127	817	90	85	3	35	100.0%	91.3%	12.3%	79.0%	8.7%	8.4%	0.3%
55～59歳	1,091	956	154	802	102	97	4	33	100.0%	90.4%	14.6%	75.8%	9.6%	9.3%	0.4%
60～64歳	1,066	950	180	770	101	95	4	15	100.0%	90.4%	17.1%	73.3%	9.6%	9.2%	0.4%
65歳以上	1,364	1,268	385	883	73	70	-	23	100.0%	94.6%	28.7%	65.8%	5.4%	5.4%	-
女	7,724	7,279	1,045	6,234	276	267	2	169	100.0%	96.3%	13.8%	82.5%	3.7%	3.6%	0.0%
15歳未満	1	1	1	-	-	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-
15～19歳	132	120	1	119	10	10	-	2	100.0%	92.3%	0.8%	91.5%	7.7%	7.7%	-
20～24歳	559	523	13	510	19	19	-	17	100.0%	96.5%	2.4%	94.1%	3.5%	3.5%	-
25～29歳	529	487	27	460	16	16	-	26	100.0%	96.8%	5.4%	91.5%	3.2%	3.2%	-
30～34歳	614	568	45	523	33	31	1	13	100.0%	94.5%	7.5%	87.0%	5.5%	5.3%	0.2%
35～39歳	712	671	64	607	25	25	-	16	100.0%	96.4%	9.2%	87.2%	3.6%	3.6%	-
40～44歳	897	835	84	751	36	34	-	26	100.0%	95.9%	9.6%	86.2%	4.1%	4.1%	-
45～49歳	797	762	80	682	25	25	-	10	100.0%	96.8%	10.2%	86.7%	3.2%	3.2%	-
50～54歳	828	783	94	689	29	27	-	16	100.0%	96.4%	11.6%	84.9%	3.6%	3.6%	-
55～59歳	873	824	136	688	31	31	-	18	100.0%	96.4%	15.9%	80.5%	3.6%	3.6%	-
60～64歳	808	771	181	590	25	25	-	12	100.0%	96.9%	22.7%	74.1%	3.1%	3.1%	-
65歳以上	974	934	319	615	27	24	1	13	100.0%	97.2%	33.2%	64.0%	2.8%	2.7%	0.1%

1) 実数は従業市区町村「不詳・外国」を含む。

注) 他市区町村の「道内」及び「他県」の割合は、次式により算出している。

$$\frac{\text{道内(又は他県)}}{\text{(他市区町村-従業(・通学)市区町村「不詳・外国」)} \times \text{他市区町村の割合}}$$

2 産業別就業者

従業員が「自市区町村」の就業者の割合は、「公務（他に分類されるものを除く）」が最も高い。

網走市の産業大分類別 15 歳以上就業者に占める従業員地別の割合をみると、「自市区町村」は「公務（他に分類されるものを除く）」が 98.7%と最も高く、次いで「電気・ガス・熱供給・水道業」が 97.9%、「農業、林業」が 97.1%などとなりました。「他市区町村」は「鉱業、採石業、砂利採取業」が 40.0%と最も高く、次いで「運輸業、郵便業」が 15.2%、「建設業」が 14.1%などとなりました。

<図2-2、表2-2>

図2-2 産業大分類、従業員地別 15 歳以上の就業者の割合(平成 27 年)

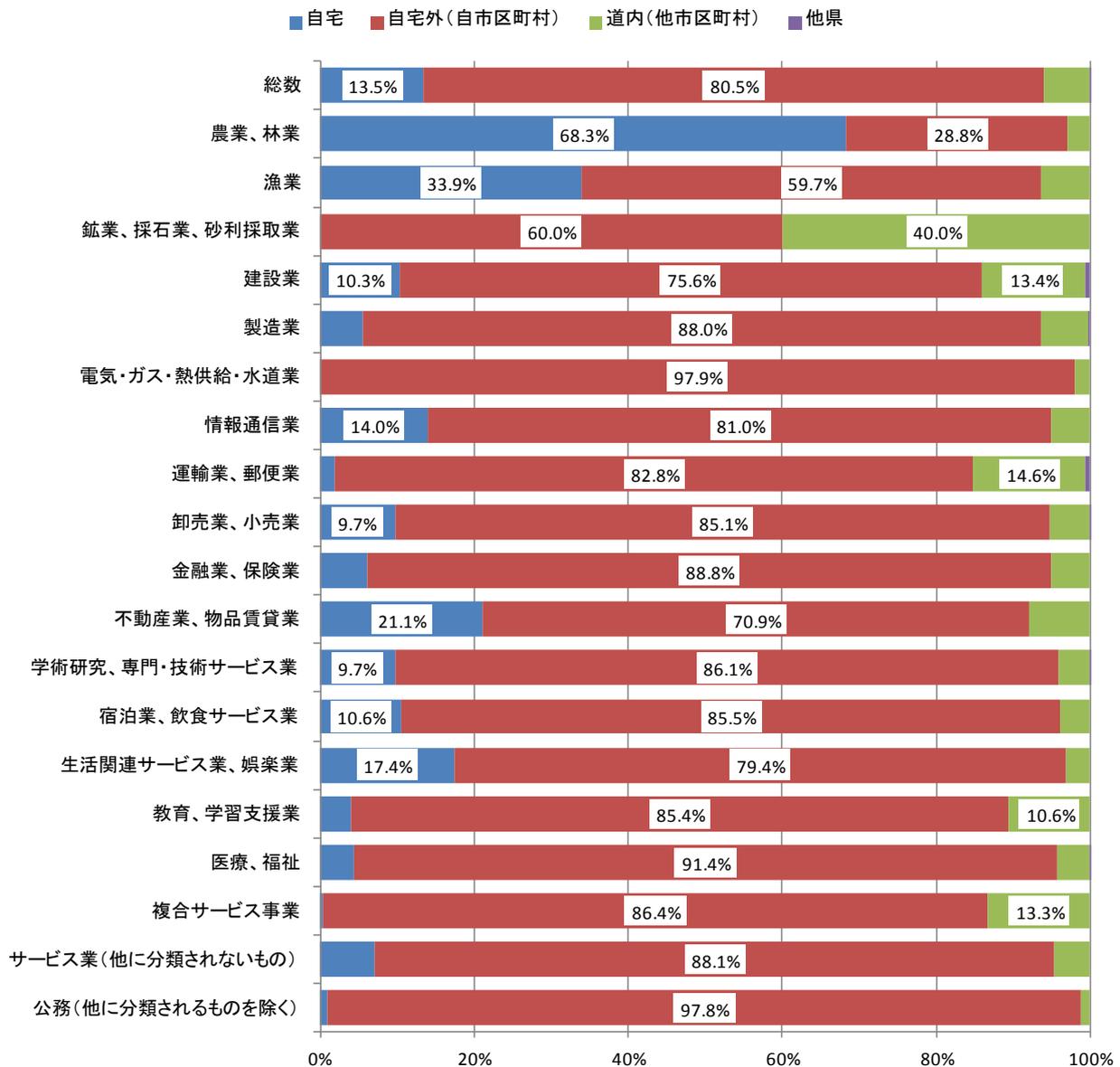


表2-2 産業大分類、従業地別 15 歳以上就業者数(平成 27 年)

産業大分類	実数(人)								割合						
	総数	自市区町村		他市区町村			従業地 「不詳」	総数	自市区町村		他市区町村				
		自宅	自宅外	1)	道内	他県			自宅	自宅外	道内	他県			
総数	17,955	16,387	2,347	14,040	1,061	1,021	21	507	100.0%	93.9%	13.5%	80.5%	6.1%	6.0%	0.1%
A 農業、林業	1,509	1,465	1,031	434	44	44	-	-	100.0%	97.1%	68.3%	28.8%	2.9%	2.9%	-
B 漁業	721	657	238	419	45	45	-	19	100.0%	93.6%	33.9%	59.7%	6.4%	6.4%	-
C 鉱業、採石業、砂利採取業	5	3	-	3	2	2	-	-	100.0%	60.0%	-	60.0%	40.0%	40.0%	-
D 建設業	1,436	1,230	147	1,083	202	189	10	4	100.0%	85.9%	10.3%	75.6%	14.1%	13.4%	0.7%
E 製造業	1,434	1,337	79	1,258	93	88	4	4	100.0%	93.5%	5.5%	88.0%	6.5%	6.2%	0.3%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	48	47	-	47	1	1	-	-	100.0%	97.9%	-	97.9%	2.1%	2.1%	-
G 情報通信業	100	95	14	81	5	5	-	-	100.0%	95.0%	14.0%	81.0%	5.0%	5.0%	-
H 運輸業、郵便業	712	602	14	588	108	103	4	2	100.0%	84.8%	2.0%	82.8%	15.2%	14.6%	0.6%
I 卸売業、小売業	2,404	2,272	232	2,040	125	119	1	7	100.0%	94.8%	9.7%	85.1%	5.2%	5.2%	0.0%
J 金融業、保険業	294	279	18	261	15	15	-	-	100.0%	94.9%	6.1%	88.8%	5.1%	5.1%	-
K 不動産業、物品賃貸業	227	209	48	161	18	18	-	-	100.0%	92.1%	21.1%	70.9%	7.9%	7.9%	-
L 学術研究、専門・技術サービス業	600	574	58	516	25	24	1	1	100.0%	95.8%	9.7%	86.1%	4.2%	4.0%	0.2%
M 宿泊業、飲食サービス業	1,224	1,173	129	1,044	48	47	-	3	100.0%	96.1%	10.6%	85.5%	3.9%	3.9%	-
N 生活関連サービス業、娯楽業	599	579	104	475	19	18	-	1	100.0%	96.8%	17.4%	79.4%	3.2%	3.2%	-
O 教育、学習支援業	861	768	34	734	91	91	-	2	100.0%	89.4%	4.0%	85.4%	10.6%	10.6%	-
P 医療、福祉	2,207	2,110	96	2,014	94	90	1	3	100.0%	95.7%	4.4%	91.4%	4.3%	4.2%	0.0%
Q 複合サービス事業	310	267	1	266	41	41	-	2	100.0%	86.7%	0.3%	86.4%	13.3%	13.3%	-
R サービス業(他に分類されないもの)	1,026	973	73	900	48	48	-	5	100.0%	95.3%	7.1%	88.1%	4.7%	4.7%	-
S 公務(他に分類されるものを除く)	1,558	1,537	15	1,522	20	20	-	1	100.0%	98.7%	1.0%	97.8%	1.3%	1.3%	-
T 分類不能の産業	680	210	16	194	17	13	-	453	100.0%	92.5%	7.0%	85.5%	7.5%	7.5%	-
(再掲)															
第1次産業	2,230	2,122	1,269	853	89	89	0	19	100.0%	96.0%	57.4%	38.6%	4.0%	4.0%	0.0%
第2次産業	2,875	2,570	226	2,344	297	279	14	8	100.0%	89.6%	7.9%	81.8%	10.4%	9.9%	0.5%
第3次産業	12,170	11,485	836	10,649	658	640	7	27	100.0%	94.6%	6.9%	87.7%	5.4%	5.4%	0.1%

1) 実数は従業市区町村「不詳・外国」を含む。

注) 他市区町村の「道内」及び「他県」の割合は、次式により算出している。

$$\frac{\text{道内(又は他県)}}{\text{(他市区町村-従業・通学)市区町村「不詳・外国」}} \times \text{他市区町村の割合}$$

Ⅲ 北海道内市別昼夜間人口比率

北海道内で昼夜間人口比率が最も高いのは室蘭市

昼夜間人口比率を北海道内の市ごとにみると、室蘭市が 109.37%と最も高く、次いで石狩市が 105.26%、砂川市が 104.46%などとなり、22 市で昼間人口が夜間人口を上回りました。

一方、登別市が 86.55%と最も低く、次いで江別市が 89.57%、歌志内市が 89.96%などとなりました。

<表3、図3-1、図3-2>

表3 北海道内市別昼間人口、夜間人口及び昼夜間人口比率(平成 27 年)

市名	昼間人口		夜間人口		昼夜間人口比率				ポイント差 22年-27年
	平成27年	22年	平成27年	22年	平成27年	順位	22年	順位	
札幌市	1,959,740	1,925,535	1,952,356	1,913,545	100.38%	19	100.63%	16	△ 0.25%
函館市	273,408	286,732	265,979	279,127	102.79%	8	102.72%	7	0.07%
小樽市	124,293	134,026	121,924	131,928	101.94%	10	101.59%	11	0.35%
旭川市	341,732	348,932	339,605	347,095	100.63%	15	100.53%	17	0.10%
室蘭市	96,865	103,303	88,564	94,535	109.37%	1	109.27%	1	0.10%
釧路市	175,733	182,016	174,742	181,169	100.57%	16	100.47%	18	0.10%
帯広市	175,954	175,656	169,327	168,057	103.91%	5	104.52%	4	△ 0.61%
北見市	121,080	125,627	121,226	125,689	99.88%	24	99.95%	23	△ 0.07%
夕張市	9,104	11,446	8,843	10,922	102.95%	7	104.80%	2	△ 1.85%
岩見沢市	81,725	86,846	84,499	90,145	96.72%	29	96.34%	29	0.38%
網走市	39,790	41,591	39,077	40,998	101.82%	11	101.45%	12	0.38%
留萌市	22,545	24,916	22,221	24,457	101.46%	12	101.88%	10	△ 0.42%
苫小牧市	173,151	173,468	172,737	173,320	100.24%	21	100.09%	21	0.15%
稚内市	36,493	39,775	36,380	39,595	100.31%	20	100.45%	20	△ 0.14%
美唄市	22,721	25,829	23,035	26,034	98.64%	25	99.21%	26	△ 0.58%
芦別市	14,372	16,256	14,676	16,628	97.93%	27	97.76%	27	0.17%
江別市	108,051	110,114	120,636	123,722	89.57%	34	89.00%	33	0.57%
赤平市	11,560	12,816	11,105	12,637	104.10%	4	101.42%	13	2.68%
紋別市	23,095	24,757	23,109	24,750	99.94%	23	100.03%	22	△ 0.09%
士別市	19,922	21,747	19,914	21,787	100.04%	22	99.82%	24	0.22%
名寄市	29,205	30,895	29,048	30,591	100.54%	18	100.99%	15	△ 0.45%
三笠市	9,154	10,439	9,076	10,221	100.86%	14	102.13%	9	△ 1.27%
根室市	27,066	29,337	26,917	29,201	100.55%	17	100.47%	19	0.09%
千歳市	99,138	98,026	95,648	93,604	103.65%	6	104.72%	3	△ 1.08%
滝川市	40,275	42,955	41,192	43,170	97.77%	28	99.50%	25	△ 1.73%
砂川市	18,484	19,559	17,694	19,056	104.46%	3	102.64%	8	1.83%
歌志内市	3,225	3,880	3,585	4,387	89.96%	33	88.44%	34	1.52%
深川市	22,181	23,945	21,909	23,709	101.24%	13	101.00%	14	0.25%
富良野市	23,576	25,083	22,936	24,259	102.79%	9	103.40%	5	△ 0.61%
登別市	42,950	44,543	49,625	51,526	86.55%	35	86.45%	35	0.10%
恵庭市	65,918	65,782	69,702	69,384	94.57%	31	94.81%	31	△ 0.24%
伊達市	33,351	34,597	34,995	36,278	95.30%	30	95.37%	30	△ 0.06%
北広島市	58,111	58,795	59,064	60,353	98.39%	26	97.42%	28	0.97%
石狩市	60,459	61,415	57,436	59,449	105.26%	2	103.31%	6	1.96%
北斗市	41,883	43,300	46,390	48,032	90.28%	32	90.15%	32	0.14%

図3-1 北海道内市区町村別昼夜間人口比率(平成 27 年)

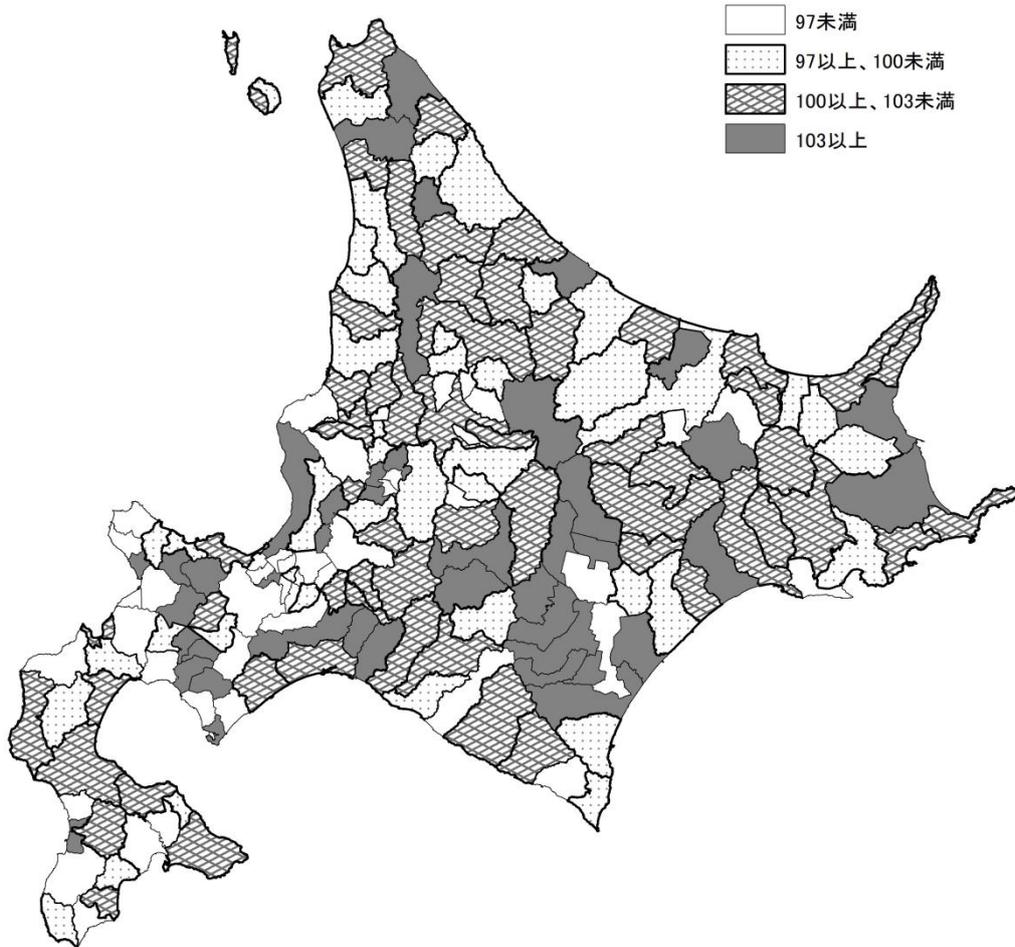


図3-2 オホーツク管内市町村別昼夜間人口比率(平成 27 年)

